

「人権標語」より

231204

人権週間にあたり、過去に公表されている多くの人権標語を探して、読み返してみました。その中で、今の私の胸にピンときた2作品を紹介します。みなさんも、ぜひ検索してみて、自分の心にピンとくる人権標語に出会うことができ、自分の心と向き合うことができるはずです。自分で人権についての標語を作ることができればいいのですが、人の言葉で自分の心を浄化すること、振り返ることも大切なことだと私は思います。



人権標語
人権について
考え・理解を
深める

令和2年度鳥取市
人権標語・ポスター入選作品

その言葉 自分に向かって 言えますか

日本通運株式会社 鳥取事業所 佐古 愛理さん

～明るく住みよいまちづくりの実現のために～
青少年による人権標語

令和3年度 高校生の部 最優秀作品

〈人権標語に対する思い、エピソード、伝えたいこと〉
無関心の対義語は思いやりである。
言葉で人を傷つけなくても無関心な態度で人を傷つけることがある。
勇気を出すことも思いやりだと思う。

今治明德高等学校矢田分校 1年 岡田 胡桃

人権宣言都市 今治市

私たちの身近な生活の中には、いじめや虐待等の人権問題、インターネット上の人権侵害、障害のある人や外国人、性的マイノリティ等に対する偏見や差別、部落差別、ハンセン病問題といった多様な人権問題が依然として存在しています。常に相手の気持ちを想像できる人、自分だったらと置き換えて考えられる人であってほしいと願っています。